

ひゅーまん ねつとわーく

地域生活



2024年 10月 発行 / 第99号

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



萩の杜

お盆休みに夏祭りを開催しました 詳しい様子は萩の杜掲示板へ！（16ページ）

ひゅーまん

HUMAN

RELAY
リレー



発達特性のある子でも保育園で 頑張っていけるクラスづくり

特定非営利活動法人 日本相談支援専門員協会 名誉顧問 ふくおか ひさし 福岡 寿さんより

●騒然とした保育園

法人を退職して10年、フリーで仕事をしていません。

仕事の中心は、保育園訪問です。

クラスの活動を見ながら、発達特性のある子がクラスで頑張っていけるようなクラスづくりや対応等を保育士さんに助言していく仕事です。

筆者の実感では、概ね15%ほどの子どもに発達特性がみられます。それで、20人のクラスであれば2人から4人くらいの園児に対しては、適切な配慮をしていかないと様々な二次的問題が生じ、適応障害（発達障害）になりかねません。

しかし、初めて出向く保育園は、ほとんどが賑やかなクラスです。

保育士さんの指示、声がけ、個別対応が頻繁で、クラス内を動き回っています。気がつくと、トラブルや癇癩、泣き出す子、クラスから出て行ってしまう子…。それでさらに個別対応が増えていきます。

こうしたクラスでは、15%では取まらず、多くの園児が、いわゆる「気になる子」としてあがってきます。

●個別対応で悩む加配保育士さんたち

こうしたクラスでは、とても、発達特性のある子

にまで手が回らないので、とりわけ配慮の必要な対象児には、加配保育士さん等、個別対応の保育士が配置されます。

クラスから出て行ってしまうので、対応する加配保育士さんは後追いで、結果的には、遊戯室と一緒に過ごさざるをえなくなったり、多くの園児が室内に戻っても、砂場や遊具で遊ばせながらマンツーマンで過ごしたりします。

それでも、少しはお友達の活動や朝の会には参加させてあげたいと思うので、その時は誘導しようと思いますが、そのためにかえって癇癩や拒否を強めてしまったりもします。

加配保育士さんたちは、まるでまた裂き状態のような気持ちで、悩みながら、試行錯誤の日々です。

●様々な配慮を試みても、騒然としたクラスの中で成果を上げていけない実情

保育園でも、発達障害の子に対する対応の研修が盛んで、多くの保育士さんが研修を受けたり、本を読んだり、児童発達支援事業所に出向いて環境作りや支援ツールを学んだりしています。また、保育所等訪問支援で園に出向くスタッフの助言を受けたりもしています。

声掛けの仕方、クールダウンの場所と対応、視覚支援やミニホワイトボード、タイマー、パーテーション

ン等々様々な工夫をし続けます。

しかし、賑やかで刺激の多い、騒然としたクラスの中で、対象児にとどまらない、多くの気になる子の対応にも忙殺され、実際は、頻繁な場面介入、制止や危険回避、注意、トラブル後の後追いの対応が繰り返されてしまうというのが実情です。

●「園児目線で寄り添う保育」が良い対応と 思っている

多くの保育士さんは、「園児目線で寄り添う保育」が大切だと教えられているので、結果的には、園児に近づき個別対応をすること。求めてくる子にはすべて応じてあげること。困っている子にはマンツーマンでかかわってあげること…が信頼関係につながる良い対応だと思って頑張っています。

そのため、保育士さんが個々の園児の個別対応に終始し、園児に近づく、近づく…という保育士自身の落ち着かない動きが増え、よりクラスを騒然とした環境にしてしまっていたりします。

園児の求め（アピール）が日々増え、それに伴って、個別へのボディタッチが増え、おんぶや抱っこ、まわりつきも同時に増えていきます。

●取り組みによって、春には騒然としていた クラスが、秋ごろには…

本稿では、具体的なクラスづくりや園児への対応には言及しませんが、保育士の指示や声がけ、個別対応がなくとも、多くの園児が気づいて動けるクラスづくりに春から取り組んでいくと、クラスが変わっていきます。

春ごろには多くの園児が、気になる子としてあがっていたものが、秋ごろには、目立たなくなり、15%ほどの配慮の必要な園児が、それでも気になる子として浮上してきます。

それも、園生活すべての面で配慮が必要というよりも…

- お友達の活動や動きが手掛かりにならない時間帯（自らのルーティンと作業記憶で手順を踏んでいかななくてはいけない時間帯）
- 一番になれなかった。負けてしまった。想定した予定が変わってしまった…等々、そうした想定外の場面に直面した際の適切な振る舞いをいくつかイメージすることの苦手な場面
- 感覚特性の強まる場面（聴覚過敏、食事場面等での偏食、蒸し暑さ…等）
こうした場面への配慮にとどまってきます。

●手厚い支援とマンツーマン対応

加配保育士がマンツーマンで対応し続けると、卒園時には、「誰かがいつもそばにいないでは持ちこたえられない園児」にしてしまいます。

就学後、児童クラブでは持ちこたえられない、結果として、税金給付による障害児支援（放課後等デイサービス）あるいは、痲癩や拒否を強化してしまうことで、放課後等デイサービスという場所貸しサービスでは対応できないので、人貸しサービス（行動援護）の支給決定になってしまうこともあります。

それで、手厚い支援はマンツーマン支援ではなく、「誰かがいつもそばにいたとしても、自ら意味ある時間で過ごせる。自ら持ちこたえられる力を育てるプロデュース」支援だということを、現場の保育士さんに、実践を通じて理解してもらうことを大切にしています。



保育園訪問

保育園等の巡回訪問指導や相談支援に長年携わってきた福岡先生による、実践に役立つヒントが満載！

気になる子の「できる!」を引き出すクラスづくり

実行機能を活かして育ち合うための保育のコツ

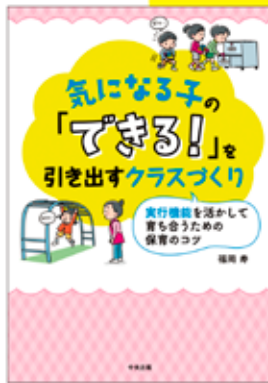
著者による
ご紹介動画はこちら



2021年6月発行

福岡 寿=著

A5判/160頁 定価1,760円(本体1,600円+税10%)



ISBN978-4-8058-8338-9

クラスが育てば気になる子も育つ!

「登園」「朝の会」「主活動」「昼食」…

1日の流れに沿って、クラスづくりの具体的な取り組みを解説

気になる子に効果的な個別対応を行うには、自ら動ける園児を増やすクラスづくりが重要です。本書では、登園から降園までの活動ごとに、園児の自ら動く力(実行機能)を育てる関わり方を解説。落ち着きのないクラスに手を焼き、気になる子への対応が上手くいかない保育者におすすめの一冊。

主要目次

- 第1章 園児の実行機能を育てる保育者の関わり方
- 第2章 一日の進め方①—「動ける」モードへの切り替えを促す—
- 第3章 一日の進め方②—「動ける」モードのまま活動を展開する—
- 第4章 一日の進め方③—「動ける」モードを活かしてプロデュースする—
- 第5章 一日の進め方④—「動ける」モードを定着させる—
- 第6章 園児が変わり始めたときに大切な視点

発達特性を踏まえた保育のコツ

発達特性を踏まえた
保育のコツ

気になる子が
活きる
クラスづくり

発達特性を踏まえた
保育のコツ

発達の気になる子への保育の必要性が広がる一方、実践面で悩みを抱える保育者は多い。本書は、気になる子の発達特性を踏まえ、効果的なかかわり方、保育者のあるべき動き、必要な配慮・クラスづくりの方法等について、現場で培われた具体策を提示する。

- A5判・160頁
- 定価 1,760円(本体1,600円+税10%)
- ISBN978-4-8058-5847-9
- 2019年3月発行

気になる子が活きるクラスづくり

——発達特性を踏まえた保育のコツ——

著 福岡 寿 日本相談支援専門員協会顧問

主要目次

- 第1章 すべての子どもが気になる子にみえてくる「壊れていくクラス」
発達特性か？単にふざけているだけなのか？愛着関係をもとめてまわりついてくるのか？/達成感もてる活動や負荷のかかる取り組みができなくなる ほか
 - 第2章 クラスづくりのために必要な保育者のかかわり
「幼児」と「友達」ではなく、「保育者」と「園児」の関係に徹する/一度経験させたことに、くり返しの個別対応をしない ほか
 - 第3章 真剣に、夢中で取り組める活動を組んでいく
一つひとつの動きを丁寧に組み立てていく/ルールをとまなうゲームや遊びはジャッジが命。真剣な審判が園児を真剣にさせる ほか
 - 第4章 発達特性のある園児を巻き込むために必要な配慮
多くの園児が暗黙で理解できること、守れることをあえてルール化しない/すぐに集団に適應させようと焦らず、まずは、落ち着ける場所で過ごせる環境設定をほか
 - 第5章 主活動保育士と加配保育士の連携でクラスづくりを強固にする
相互に立ち位置をブレさせず、暗黙で連携し合う動きの確認/園児の当番活動を強化し、保育士と園児が協働でクラスをつくっていく ほか
- Q&A
クラスづくりをしっかり進めたいと思いつつも、発達特性のある子や発達のゆっくりな子へのかかわりに時間を割いてしまいがちになります。/発達特性のある

相談支援の実践力

これからの障害者福祉担うあなたへ

- A5判・202頁
- 定価1,650円(本体1,500円+税10%)
- 2018年2月発行
- ISBN978-4-8058-5641-3



福岡 寿 = 著

相談支援専門員の先駆けとして「施設と地域」の間を走り抜けてきた著者が、30年にわたる実践の中で気づいたこと、大切にしてきたことを余すところなく語りつくす。現場の支援員、相談支援専門員、サービス管理責任者が元気になる、明日の活力にできる一冊。

目次

- はじめに
- 第1章 施設と地域のあいだで考えた
 - 本質は「本人中心支援」への気づき —
- 第2章 相談支援専門員としてプレイヤーを目指すために
 - 私が大切だと思ってきた五つの考え方やアプローチ —
- 第3章 これからの相談支援実践
 - プレイヤーの資質とマインド —
- おわりに
- 制度の変遷と活動歴



相談支援専門員、サービス管理責任者、施設で働く支援員に伝えたい

珠玉のメッセージ

しなやかに、したたかに、「施設と地域」を変えていく、そんな創造的な仕事ができるプレイヤーになってほしい。

コード	書名	定価	部数
8338	気になる子の「できる！」を引き出すクラスづくり 実行機能を活かして育ち合うための保育のコツ	1,760円(本体1,600円+税)	部
5847	気になる子が生きるクラスづくり 発達特性を踏まえた保育のコツ	1,760円(本体1,600円+税)	部
5641	相談支援の実践力 これからの障害者福祉を担うあなたへ	1,650円(本体1,500円+税)	部

国内研修 についてのご相談も承ります。

● 福岡先生の主な活動について

長野県を拠点に、全国の保育所での巡回相談、国内研修を多数実施。

「対面活動」および、「オンライン研修」により、短時間から1日、定期研修にて保育者の課題解決に向けて精力的にご活躍中！
この機会に、新たな国内研修についてのご相談も大歓迎です！！

研修についての相談を希望する（弊社担当者からご連絡を差し上げます）

スマートフォンでお申し込み



QR 採取

上記QRコードをスマートフォンのカメラで読み込むと注文用の Google フォームにアクセスできます。

・送料サービス。

- ・ご注文からお届けまでに、1週間～10日程度かかります。
- ・お申し込みは Google フォームが便利です。
- ・上のQRコードをお手持ちのスマートフォンで読み取り、必要事項を入力してください。
- （FAXでお申し込みの場合は 03-3837-8037 宛て）に送信してください。

FAXでお申し込み → 03-3837-8037

※は必須事項

※ ご送付先	<input type="checkbox"/> ご自宅・ <input type="checkbox"/> 勤務先（ご名称・部署名・ご担当者名をご記入ください）		
〒			
※お名前 （ご担当）	※TEL		
お支払い	①公費	②私費	必要書類 見積書・納品書・請求書
お支払方法 （お支払方法を指定してください）	<input type="checkbox"/> 代金引換 ※一部、お取扱いできない地域がございます。	希望曜日 <input type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜 <input type="checkbox"/> 日曜 <input type="checkbox"/> 無指定 ※日曜の指定は出来ません ※「振込」を選んだ場合、曜日・時間の指定は出来ません ※電話番号が無記入の場合、代金引換でのお届けは出来ません	希望時間 <input type="checkbox"/> 9～12時 <input type="checkbox"/> 12～14時 <input type="checkbox"/> 14～16時 <input type="checkbox"/> 16～18時 <input type="checkbox"/> 18～20時 <input type="checkbox"/> 19～21時 <input type="checkbox"/> 無指定
	<input type="checkbox"/> 振込（銀行、郵便局、コンビニ）	代引手数料300円 ※ご購入3,500円(税込)未満の場合、別途送料がかかります。	
	必要書類	見積書（通）	納品書（通）
	請求書（通）		
※請求書は、商品と同送いたします。公費→約1カ月以内、私費→約2週間以内にお支払下さい。			

出版社使用権 (記入不要)	コード	売上日	売上 No	区分	社員	業種	方法	納請	場所	用紙	売上	支払
3					1125							

☆お客様の個人情報のお取り扱いについて 個人情報保護管理者 取締役総務部長 Tel. 03-3834-5810

●弊社はお客様の個人情報を商品の発送・納品、代金の請求、入金確認、返金、サービス実施、弊社の商品、サービス、催し物のご案内、これらの確認のための連絡に使用します。弊社は法令に基づく場合を除いて、お客様の個人情報を当該本人の同意を得ず第三者に提供することはありません。弊社はお客様によりよいサービスの提供のため、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、適切な管理を実施させて業務の一部を外部に委託します。お客様が弊社に個人情報を与えることは任意ですが、お客様が弊社に個人情報を与えない場合には、弊社からの返信やサービスの提供ができない場合がありますのであらかじめご了承ください。お客様には、ご自身の個人情報の利用目的の通知、個人情報の開示、訂正、追加、削除の要求、利用又は提供の拒否をする権利があります。必要な場合には、右記の窓口までご連絡下さい。

【個人情報問い合わせ窓口】 中央法規出版株式会社 福岡営業所



中央法規出版株式会社 東京営業所

〒110-0016 東京都台東区台東3-29-1

TEL. 03-3834-5817 FAX. 03-3837-8037

SNS、メルマガ、けあサポで最新情報を発信しています。



地域における包括的支援体制の構築をめざして

～地域連携を考えて～

一般社団法人泉大津・発達支援勉強会 ^{リアン}Lien
代表理事 ^{ひら}平 ^{ゆきみ}由貴美さんより

■ 自閉症児との出会いと先輩ママの皆さん

平成16年生まれの長男は乳幼児期から感覚過敏や同一保持などの特徴があり、何も知らない私にも育児書などに書いてある一般的な子育てでは上手くいかないということだけは分かりました。3歳代で当時の広汎性発達障害との診断を受けて療育園に通園しましたが、身近で自閉症について学ぶことが難しかったため、情報を集めては遠方に出かけて専門家から学ぶということを繰り返していました。そんななかでご縁をいただいたのは、高槻にお住いの先輩ママの皆さんでもありました。当時の在住市では知的な遅れのない自閉症という概念の理解は難しく、定期的に高槻で一緒に学ばせていただく先輩ママの皆さんとの時間は「自閉症」を共有出来る唯一の嬉しい時間でもありました。

■ 親の会の立ち上げと非営利法人化

専門家の先生方から学ばせていただくTEACCHの理念やソーシャルストーリー™^{*}等で本人が理解しやすい情報提供や関わりかたを工夫して子育てをしていく中で、10年前、同じ療育園出身のお母さん数名から「勉強会をして欲しい」と依頼を受け、任意団体として親の会（発達支援勉強会）を立ち上げました。活動の目的は〈わが子を知ること〉とし、私たち親自身がわが子を理解し、
※ソーシャルストーリー™とは、
キャロル・グレイ氏が1991年に考案した自閉スペクトラム症(ASD)などの発達障害を持つ子どもに対しての情報提供の方略。目に見えない社会的な状況や行動を理解しやすくするため、視覚的に際立たせて意味を教える教育技術の一つです。

厳しい地域の現状でも子どものことを適切に関係者へ伝えていけるようにという共通理解をもち、書籍やDVD、テレビの特集等を通して自閉症について仲間で学びを深めました。

2020年に非営利法人に移行してからは名称を一般社団法人泉大津・発達支援勉強会Lienとし、これまでの勉強会に、保護者支援・地域啓発・他機関との連携も活動目的に加えしました。

ご家族の親戚が身近に多く住んでいるという地域の状況から、自閉症や発達障がいという言葉はご法度のような空気に包まれている現実は今もなお変わりはありません。ですが、子どものためにと願う保護者が多額の金銭を払わされるような事案が公的な場所で起こっている現実を知り、〈不安が蔓延すれば何が正しいのか誰も分からず、藁をもつかむような思いで親は何でもしてしまう〉と危機感を感じ、私と家族の安心安全を天秤に掛けつつ地域への啓発活動を行っています。

理解が乏しい地域では当然ながら、必要という概念が無いために体制整備にも歯止めがかかります。私どもLienの啓発活動の1つに、貴法人の委託事業である大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさかの〈大阪府ペアレント・メンター〉での活動がございしますが、前述した地域の現状から、身を切る思いで活動をしているということは言うまでもありません。ですが、整っていない状況の中で、根拠ある支援を学びながら試行錯誤をして積み上げてきた15年以上の子育て経験を語り、親としてのこれまでの歩みを広く知っていただくことは、私た

ちにしか出来ない活動でもあると考えています。

■ 保護者支援

同じ立場の保護者としてお母さんたちの力になれることは、私自身の大きな喜びでもあります。自閉スペクトラム症（以下、ASD）に興味を持ち、魅力的な部分をもっと知って欲しいと心から願い、保護者の皆さんのこれまでの子育てを一緒に振り返りながら背中を支え、これから歩いていく道を伴走する役割をしています。

思春期で診断が付いたお子さんや未診断のお子さんの保護者の方も多くおられ、これまでのご家族の大変な歩みをお聞きするたびに「もっと早く出会いたかった」と感じずにはられません。

他害・暴力・触法にすれすれの現状に疲れ果てる現実。薬だけが増えて「薬でお腹がいっぱいになる」とご本人が呟く現実にも関わらず家から出られない日々。どこに行っても目の前を動かす手立てや工夫、どこかへ繋ぐことも提案されず、どこを頼ればいいのかも分からない状態で既に何年も経過しており、「平さんに会えて良かった」と涙されたことは数えきれません。

現在は、泉大津市立病院の小児科受付にLienのパンフレットを置いて下さっており、発達担当の医師からも、必要と思われる保護者の方へ診察室でパンフレットが手渡されています。服薬の提案だけでなく、人的物的両方の環境整備のために、ASDの特性の理解を軸に親子の信頼関係が育めるよう今後も活動していきます。

■ これからの未来のために

長男と7つ離れた次男は療育手帳を保持しています。次男の成長と共にまた新たに学ぶことや考えることが多くありました。今の学校環境や社会の状況は、ASDのある方々にとっては大きな生きづらさがあるでしょう。本人の心の安定を守り続けるには、関わる周囲の大人のASD特性の理解と本人に

合った個別の配慮や子育ての工夫がなければ到底安心できるものではありません。それには、多くの大人たちがこれまで生きてきた価値観の転換も必要なかも知れません。誰もが安心して過ごせる社会の実現には、まだまだ大きな舵取りが必要だと感じています。だからこそ様々な多職種他機関で〈広い意味での共通理解〉を持つ必要性を感じています。

また同時に、目の前の身近な状況の課題と向き合うことも忘れてはいけないと思っています。往々にして、目の前の課題は明確に困難さが見えるために厳しく感じ、少し離れたものはきらきらと輝いて見えます。ですが、そこにたどり着けば、その場所にはその場所の困難さが待っています。どのような場所であっても、置かれた場所で自分に出来ることを精一杯することが何よりも近道であると肝に銘じていたいと思っています。

今年度から、地域で40年続く古い親の会の会長も務めることになりました。人生の先輩である保護者の方とそのお子さん達が今後も変わらず穏やかに地域で生きていくために、微力な自分の立場で出来ることは何なのか。また、世代や障害観の垣根を超え、お互いが理解し合うためには何が 필요한のか。

自分と立場が違う相手に心を寄せて思いを馳せられる地域に少しでも近づけるよう、今後も力を尽くしたいと思います。私自身が心の支えにさせていただき、学ばせていただいている信頼して尊敬する先生方に心から感謝しています。





3番館Yさんの9年間の軌跡 ～ 強度行動障害者の豊かな暮らし～

レジデンスなさはら

支援員 木村 嘉津夫

■ はじめに

レジデンスなさはらは、重い知的障害のある方、自閉スペクトラム症で行動上の課題がある方を対象に、平成24年4月に設立された共同生活援助施設で、現在20名のご利用者が3棟の建物に分かれて生活されています。レジデンスなさはらでは、支援員一人一人が「一人一人を知り、意思を大切にします」「地域でのあたりまえで快適な暮らしをサポートします」「一人一人がしたいこと、チャレンジできる環境を整えます」という「なさはら3か条」を意識して、よりご利用者が『らしく』生きるために」ということを日々考えながら支援を行っています。

今回は、レジデンスなさはらのご利用者「Yさん」の支援について、報告させていただきます。

■ 入居当初のYさん

Yさんは、現在30歳代の男性で、平成24年(2012年)の開設当初からレジデンスなさはら3番館に入居されています。入居当初のYさんは、グループホームでの暮らしに見通しが持てず、どう過ごせばよいかわからないため、居室で落ち着いて過ごすことが難しい状態でした。Yさんの居室は建物内のリビングから離れた場所にあるのですが、居室内で過ごすことができないため、居室前からリビングまでを何往復も走り回る、という様子がよく見られていました。またその際に、リビングにいるスタッフの動きが気になり、スタッフに掴みかかる他害行為にもつながっていました。

そこでまず、Yさんが落ち着いて過ごすことができるよう、Yさんの特性に基づいて、レジデンスなさはら3番館の住環境と個別支援の整備を、次のように進めていきました。居室にご本人が見通しを持つためのスケジュールを設置し、ご様子をうかがいながらスケジュールシステムの改良を重ねる(写真①)、他者の動きが気にならないよう、隣室との間にアコーディオンカーテンを設置する(写真②)、Yさんの玄関をより居室に近い通用口に作ることで、他利用者と生活エリアを分離するなどといったことです。その甲斐もあり、年々Yさんは他害などの行動の頻度は減っていきました。そして、職員がよりYさんにとっての「楽しみ」に目を向けた支援を考えられるようになっていきました。



写真①



写真②

■ 強みを生かす支援へ

まず考えたのは「食」に関する支援でした。Yさんはもともと偏食の傾向があり、食事をあまり食べられないことも多く、低体重の状態でした。そこで体重増加とご本人の嗜好のアセスメントのため、ご飯

のお供や冷凍食品などを補助食品として購入し、提供を始めました。そしてその中でご本人の食の嗜好がわかっていき、嗜好に合わせた食事を提供することで、食事摂取量と体重が次第に増えていきました。またその支援を通じて、Yさんに「食べることが好き」という強みがあった、ということがわかっていきました。

次に、そうしてわかった強みを生かす活動として、職員と定期的に外出し、近所のコンビニでの買い物をする、という活動を始めました。その背景には、コロナ禍もあって長期間外出余暇の支援ができておらず、外出時のYさんの様子が知られていなかったという点と、この支援を通じて外出時のYさんの支援を整備していくことで、将来的な移動支援、行動援護の利用につながれば、という目標がありました。最初はYさんが慣れない外出に見通しが立たないこともあり、片道5分ほどのコンビニへの道中で、何度も立ち止まりや職員への他害行為が見られていました。そこで「何を買うかの見通しを持つこと」と「自分でほしいものを選んで外出への意欲を持つこと」を目的に、カードを使って事前を選択していただくよう支援ツールを製作しました。Yさんも最初はそれをうまく使えなかったのですが、汎化のため、外出時以外にもおやつを選ぶときなどに同様のカードを使用し(写真③)、回数を重ねることで、外出時の選択もカードを使ってできるようになっていきました。そうして支援ツールの改良も進む中で、次第に買い物外出もスムーズに、またどの職員が対応しても行けるようになっていきました(写真④、⑤)。



写真③



写真④



写真⑤

■ 広がったご本人の世界

そして、その状況を相談支援事業所に伝え、移動支援の利用に向けた調整を依頼したところ、月に2回、17時から19時の時間で利用できる移動支援事業所の紹介をしていただけました。移動支援利用に先がけて、グループホーム職員間において、その時間の外出であれば今実施している買い物よりも、外食の方がよいのではないかと、今のYさんなら外食にも行けるのではないかと、という意見で一致し、定期的な移動支援利用での外食を目指していくこととなりました。そして、グループホーム職員との外食に取り組み、外食時の様子を記録し、支援を組み立てていきました(写真⑥)。その後、それらの様子を、相談支援事業所を通じて移動支援事業所と共有し、いよいよ移動支援の利用が始まることとなりました。



写真⑥

移動支援の利用開始後も、外食中や移動時の様子をうかがいながら、支援の改良を進めていきました。視覚支援ツールの使用法など、改良した点はグループホーム内での支援でも活用し、支援の一般化と新たな課題の発見、そして再度支援の改良へ、と繰り返して行い、支援のマニュアルを作成して移動支援事業所とも共有しました(写真⑦)。そして移動支援の利用開始3か月後に担当者会議にて、支援がうまくいっている点と今後の課題を事業所とご家族の間で共有し、またニーズを鑑みて移動支援から行動援護への切り替えを申請する、という方針となりました。その会議の席の中でご家族様がおっしゃった「10年前は考えられなかったですね」という言葉が、とても印象に残りました。9年間という時間をかけて、Yさんにとっての世界は確実に広がっているんだな、と感じた瞬間でもありました。



写真⑦

■ まとめ

Yさんの支援を通じて私が学んだことは、まず一つにご利用者の支援を進めていくにあたって、基盤となる生活分野での安定を目指すことは、その領域だけにとどまらず、ご利用者にとっての世界を広げていく、という方向へつながっていく、という点です。今回は、日常の中で成功体験を積んでいくことにご利用者自身はもちろん、職員にとっても自信となり、利用者と一緒に先へ進むことができたと感じています。

次に、誰もができる支援を整備していくことの重要性も、改めて学ぶことができました。支援担当の職員が変わっても、今回の視覚支援のツールのようなものが整備されていれば、ご利用者の生活への影響を少なくすることができます。またそういった支援が整っていれば、それは一つの事業所にとどまらず、ご利用者に係るほかの方にも伝えていくことで、間接的に地域資源の開発にもつながっていきます。

Yさんの支援はこれで終わりではなく、現在も新たな課題に直面しています。しかし、今後もやるべきことは変わりません。ご本人の様子から仮説を立てながら支援を組み立て、ご本人とともに「『らしく』いきる」生活を目指していきます。



衣類の取り組み ～自分で決めるコーディネート活動～

レジデンスなさはらもとまち

支援員 喜多竜也

■はじめに

レジデンスなさはらもとまちは13名の知的障がいやASD（自閉スペクトラム症）、ダウン症等のある男性が暮らす共同生活援助（グループホーム）です。強度行動障がいと呼ばれる2次障がいのある方も多くいらっしゃいます。

もとまちは、「笑顔でもっとマッチ ご利用者もスタッフも 安心してのびのびと力を活かしてありのまま 地域に生きるわたしたち」という理念を掲げております。

ここでは事例として、支援ツールの紹介とそこから私が学んだことを紹介させていただきます。

■ご利用者の経緯

これまで、気温や季節に関係なく自身が「着たい!」と思われる衣類を着用され、そこからの変更が難しく、体調悪化の懸念や衣類へのこだわりが強く見られていました。衣替えや衣類の仕分け・整理、ご自身で衣類の管理、準備等をしていただく等の支援を行うことで、季節に応じた衣類を着用することができるようになりました。しかし、その中でも特定の外出着ばかり着用される、タンスにあるパジャマが無くなるまで着替えるといったこだわりが見られるようになりました。そのため、視覚的な提示を用いて、「自分」で、いつ・どの衣類を着用するのかということを決めていただき、ご本人にお伝える支援ツールを導入しました。

■これまでの支援

①衣類の整理

ご本人へのアセスメントより、色と形のマッチングが得意だということから、種類ごとに衣類を仕分けさせていただき、それぞれ色と形を割り振っています（写真①）。また、シーズンオフの衣類もご本人のクローゼットに収納させていただいています（写真②）これは、ご本人に管理していただき、安心感にもつながっています。もしシーズンオフの衣類がご本人の居室にないと、確認行動が増える、他者の部屋に入り込んで探される、指を噛む自傷、スタッフの腕をつかむなどの他害、といった行動が現れてしまい、落ち着くことができず、不安定になるということが行動として現れてしまいます。そのため、ご本人がいつでも確認したいときに確認できるようにすることで、落ち着いて過ごすことができおられます。



写真①



写真②

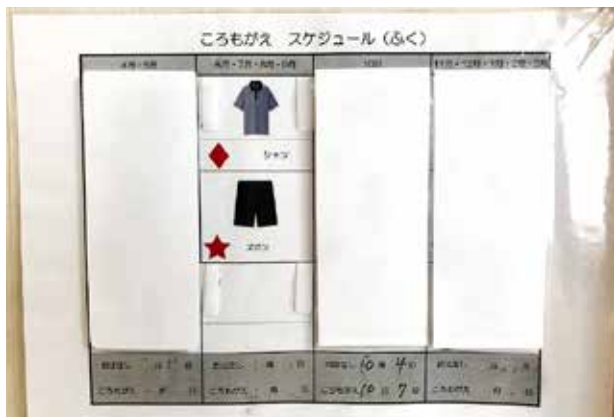
②衣替え

年間のスケジュールを作成し、いつどの種類の服を衣替えするのかということを視覚的に提示させていただいています(写真③)。今着るべき種類の服のみを提示し、着用しない種類の服は見えないように隠しています(写真④)。ただ、隠してはいますが、簡単に取り外すことができるため、ご本人が確認したいときには見ることができるようになっています。

また、次回の衣替え日程とその前に衣替えすることをお伝えする「おはなし」という活動をする日程も提示させていただいています。導入当初は衣替えが近づくとつれ、不安感やイライラが強く見られていましたが、今では気にされるご様子はなく、衣替えもご本人中心で行っておられます。



写真③



写真④

■ コーディネート表

ここからは今回の支援を紹介させていただきます。まず、ご本人のすべての衣類をカード化し、いつで

も視覚的に確認できる状態にしました。上の段が外出着で、下の段がパジャマになっています。毎週日曜日に「コーディネート」という活動を導入させていただき、次週に着用する衣類を外出着・パジャマそれぞれ、いつどれを着用するのかということをご本人に決めていただいています(写真⑤)。



写真⑤

また、コーディネート表のカードについては、それぞれのカードの裏には先ほど紹介しました、衣類の整理を行った際の色と形のマッチングができるマジックテープを使用しています。ご本人の強みを活かし、カードを貼るときや準備する時の手がかりとして作成しました(写真⑥⑦)。



写真⑥



写真⑦

■ コーディネート表を用いた服準備

次にコーディネート表を用いた服の準備についてご紹介させていただきます。

コーディネート表を導入する前から、色と形のマッチングができるという強みを活かし、日付に応じた写真カードをコーディネート表からはがし、服を準備するかごに貼っていただき、クローゼットの中と、かごに貼っている色と形のマークを照らし合わせなが

ら、自立して服の準備を行っていただいています
(写真⑧)。

以上がコーディネートの支援の紹介になります。



写真⑧

■ まとめ

まずはご本人の変化についてです。コーディネートの支援により、パジャマをタンスから無くなるまで着替える、特定の外出着ばかり着用されるといった行動は無くなり、服へのこだわりが軽減されました。それにより、季節に合わせた服を着用することができ、健康面が守られました。

また、落ち着いて過ごす時間が長くなったことで、余暇時間が充実しました。

今回の支援のポイントとして、ご本人に決めていただくということを大切にしてきました。そのため、ご自身の意思で服を決めることができ、納得値も上がり、枠組みに沿って自らしっかりと取り組んでくださっています。また、スタッフもこれまでは口頭でお伝えしていたことが、コーディネート表を用いて視覚的にお伝えすることが可能になり、ご本人へより分かりやすく伝えることができました。

■ 学んだこと

これまでの支援は「ご本人に視覚的に分かりやすく」をポイントに取り組んできましたが、今回の支援では「ご本人」に決めていただくということも加えてポイントに置き、「意思決定」を大切に支援しました。「自分で決めた」ということで表に沿って行うことができ、こだわりが軽減されたことから、自己決定を尊重した支援、視覚的な支援の重要性を改めて感じることができました。これから行っていく支援においても、ご本人にとって分かりやすいということだけでなく、「意思」を大切に支援していきたいと思えます。



杉の子 いいね!

凸レッツ凸
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動(絵画・詞・陶芸等)を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

萩の杜

季節の行事に合わせてリビングの飾りつけをしています。七夕とお盆の夏祭りに向けて作品を作りました。

夏祭り飾りつけ



七夕飾りつけ



掲示板コーナー

(令和6年6月から令和6年8月まで)

法人事業部 掲示板

6月	行 事
3・17日	経営会議
5日	法人事業部管理会議
7日	第2回新入職員研修 「自閉スペクトラム症の特性理解について」
7・21日	運営会議
10日	関西大学人間健康学部植田先生ゼミ内説明会
13日	医療連携推進室会議
30日	FUKUSHI meets! インターンシップ2026 イベント出展

7月	行 事
3日	法人事業部管理会議
5日	医療連携推進室会議
8・22日	経営会議
12・25日	運営会議
16日	第155回理事会 第1号議案(仮称)レジデンスはぎのみり(A棟、 B棟)新グループホーム入札と建設スケジュールの 件 第2号議案(仮称)レジデンスはぎのみり(A棟、 B棟)新グループホーム建設に係る公告事項の件
22日	第156回理事会 第1号議案 役員等賠償責任保険契約の件 第2号議案 滋賀銀行からの借入の件 第3号議案 諸規則、規程類の改正の件

7月	行 事
動画視聴 形式にて 開催	令和6年度 第2回法人研修 ・業務貢献優秀賞の取り組み発表 ・感染症対策研修

8月	行 事
2日	医療連携推進室会議
5日	第157回理事会 第1号議案(仮称)レジデンスはぎのみり新グ ループホームの新築 工事入札参加業者の決定並 びに現場説明要項の決定の件 第2号議案(仮称)レジデンスはぎのみり新グ ループホームの新築建設 工事に係る予定価格の 決定の件
5・19日	経営会議
7日	法人事業部管理会議
9・23日	運営会議
9日	第3回新入職員研修「労務管理、人事考課、予 算等について
22日	権利擁護虐待防止委員会
26日	第158回理事会 第1号議案 諸規則、規程類の改正の件 第2号議案 職務執行状況報告書の件 第3号議案 福祉医療機構からの借入の件 第4号議案 工事請負契約の件

(松本 記)

FUKUSHI meets! インターンシップ2026イベント出展



～お盆休みの過ごし方～

ミニ花火大会



すいか割り



ピザデリバリー



～ふれっとなさはら～

夏祭りメニューをいただきました。



(松本 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

美味しいお出かけ

ラボaグループでCafe Beにお茶を
しに行きました。各自注文したものを
ワクワクと待ち…。

「美味しい〜！」という声が聞こえて
くるような表情です。



願いごと 2024

七夕が近づくとひむろの各
地点に笹が登場し、皆さんの
願いごとでそれぞれ彩られま
した。つつい足をとめて読
み込んでしまうような、個性
豊かに輝く短冊でした。



お疲れさま！の プチパーティー

ひむろではお盆とお正月の長期
休暇前に『慰労会』として各グル
ープでお疲れさま会を行います。お
菓子やジュースを買いに行ったり
アイスを食べたりと、皆さんの好
きな物を改めて知りながら、日々
の頑張りを労い合いました。

Summer

ひむろ
夏の

思い出



熟練の

ボランティア活動

ランドリーグループの3名のご利
用者は、定期的に大阪ボランティア協
会のCANVAS谷町に足を運び、チ
ラシ折りや帳合い等のボランティア活
動を行っています。手慣れた様子でス
ピーディーに進め、追加でどんどん作
業を任されるお姿はとても格好よく、
また、得意な作業で地域と繋がるとい
う取り組みも素敵です。



着々と施工中

ひむろ2期棟工事が6月から着工
しました。間近から工事が見られる
非日常的な体験と日々変わりゆく姿に
皆さん釘付けです。

Photo by:Mさん (ラボb)



出店と展示

イオンタウン茨木太田にて開催され
た『ちかつアートフェスタ』に参加さ
せていただきました。3名のアーティ
ストの絵を多くの方に見ていただくこ
とでアート商品の購入にも繋がったり
と、とても貴重な経験となりました。



Yさん作：どうぶつ

想像のつかない色使いと、長時間集中して色を塗り込
むアートスタイルで、面白い作品を次々と生み出される
Yさん。こちらの絵を使用したマグカップも販売中です。
是非 Instagram をチェックしてください→@etone_art



(井上・村岸 記)

アクトおおさか Topics!!

～令和6年度第1回

大阪府発達障がい者支援センター連絡協議会のご報告～

アクトおおさかでは、発達障がいのある方々の乳幼児期から成人期までの各ライフステージを通じた途切れない支援のためのネットワーク構築を目的として、年2回連絡協議会を開催しております。

令和6年4月1日の改正児童福祉法施行において、児童発達支援センターが地域における中核的役割を担うことが明確化されました。センターの機能強化を行うことが喫緊の課題になっている市町村も多く見られる中、第1回の連絡協議会では茨木市立児童発達支援センターあけぼの学園の檀原幹彦氏をお招きし、児童発達支援センターの機能強化に伴う大阪府発達支援拠点※との連携の実践について話題提供いただき、意見交換を行いました。

話題提供では、職員の人材育成という課題がある中、拠点と連携しながらセンターの機能強化を図ったことに加え、機関支援の内容を地域に汎化させ18歳以降も身近な地域で暮らしていけるような体制作りについてもお話がありました。意見交換では、お子さんを支援している支援者の方が将来のイメージをもつために成人の支援現場を見学に来てはどうかというご提案もありました。実践共有を通じて、ライフステージを通じた切れ目のない支援ネットワークの強化について改めて考える機会となりました。

※大阪府発達支援拠点…府内に6か所あり、発達障がい児の個別療育の実施とともに発達障がい児支援の専門的なノウハウを活用し圏域内の障がい児通所支援事業所や学校を対象に機関支援を行っている。



～令和6年度大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか主催 支援者対象公開講座のご報告～

令和6年8月26日（月）に大阪産業創造館にて、支援者対象公開講座を開催しました。講師には鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授であり同大学発達臨床センター所長の小倉正義先生をお招きし、「発達障がいといじめ～特性理解の視点から～」というテーマでご講演いただきました。当日は、教育をはじめ、福祉・医療・労働などの幅広い分野より約200名という多くの支援者の皆様のご参加がありました。

ご講演では、発達障がいといじめの関連や、いじめの予防という視点から多様性を理解し合う環境づくり、発達障がい特性に基づく介入方法などについてお話いただきました。また、援助要請が苦手な方について、どのような要素があれば周囲に助けを求められるのかなど詳しくご説明いただきました。事例やミニワークを交えながらお話いただいたことで、参加者は対象者をイメージしながらより深い理解をもつことができているようでした。

講座終了後のアンケートでは、「大変参考になった」「参考になった」という感想が9割以上を占め、一人ひとりのお子さんの特性や行動の背景を理解したうえで対応を考えることの重要性を感じたという声が多く聞かれました。また、講座内容を職場で共有し、教員同士や支援者同士で足並みを揃えた支援を図りたいという感想も多く見られました。

今回の講座で得られた学びや幅広い視点を、参加された皆様の今後の支援に活かしていただけることをアクトおおさかとしても期待しております。ご講演いただいた小倉先生、ありがとうございました。



～令和6年度大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか主催 府民対象公開講座のご案内～

今回の府民対象公開講座は、Zoomウェビナーを用いたWebセミナーです。講師には、iPEC（子どもとおとなの心理学的医学教育研究所）所長の吉田友子先生をお招きし、「自分らしく生きるために～発達障がいのある人の自己理解とは～」というテーマで、自己理解とは何か、自己理解がなぜ大切か、日々のどのようなことが自己理解（自己理解支援）につながるのかなどについてお話いただきます。どなたでもご参加できますので、皆様ぜひお申し込みください。

参加費
無料

令和6年度大阪府発達障がい者支援センター
アクトおおさか主催 府民対象公開講座

アクトおおさか
大阪府発達障がい者支援センター

自分らしく生きるために

～発達障がいのある人の自己理解とは～

発達障がいのある人が自分自身を知り、自分に合った環境（生活・就労など）を自己実現・自己決定していくためには、ご家族や周囲の人々がご本人を理解しようとする姿勢で、自己理解のプロセスを一緒に進めることが重要になります。そこで今回の公開講座では、iPEC（子どもとおとなの心理学的医学教育研究所）所長の吉田友子先生をお招きし、自己理解とは何か、自己理解がなぜ大切か、日々のどのようなことが自己理解（自己理解支援）につながるのかなどをお話いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2024年11月21日(木) 13:30～16:00
(13:00入室開始)

開催方法

ZoomウェビナーによるWebセミナー

講師

吉田 友子先生

1975年、東京慈恵会医科大学卒業。
横浜市総合リハビリテーションセンター児童精神科、横浜市北部地域療育センター
診療係長。よこはま発達クリニック勤務を経て、2020年3月に千代田クリニックを開設。
2005年2月にiPEC（子どもとおとなの心理学的医学教育研究所）を設立し、自己
理解支援に関する取り組みにも注力。様々な大学の学生相談室での学生の支援や、大
学・療育センター等での支援者の研修などに取り組んでいる。



定員・対象

300名（先着順）
どなたでもご参加
いただけます

※申込み締め切り
2024年11月13日（水）

申し込み方法



QRコードもしくはアクトおおさかHPからお申込みください
アクトおおさかのURLは<https://act-osaka.org/>

受講の流れ

①自動送信
メールの受信
※お申込み後、
すぐにおきます

②招待URL
メールの受信
※お申込み後、
予定してまいります

受講

- 申込みにつきましては、Web申込みのみとなります。
- 参加者数の把握のため、参加者お一人ごとの申込みをお願いいたします。
- 定員に達した場合、締切日より先に申込み終了となる場合がございます。
- 初めてZoomを利用される場合には、アプリの事前インストールが必須となります。
- 当日はインターネットへの接続と音声入力可能なPC、スマホ等をご用意いただき、受講してください。
- 連絡メール防止の設定をしている場合は、ドメイン（@google.com及び@suginokokoi.com）の受信設定をしてください。
- 申込み後上記ドメインのアドレスより自動送信メールにて申込み内容のコピーが届きましたら、お申込みが完了しております。メールが届かない場合はお問い合わせください。

お問い合わせはこちら

大阪府発達障がい者支援センター
アクトおおさか
大阪府守口市本町1-1-15
15F
06-6966-1313
担当：西ヶ原



アクトおおさか

大阪府発達障がい者支援センター

以下のQRコードまたはアクトおおさかのHPからお申し込みいただけます。



↓アクトおおさかHP
<https://act-osaka.org/>
*定員に達した場合、締切日より先に申込み終了となる場合がございます。

(奥野 記)

児童発達支援部

a n



これください!練習中です♪



三井寿みたいになるぞ!



僕がデザインしました 😊

Link



手順を見ながら洗濯物たたみをしたよ!



動画を見ながら、1人でホックをとめたよ!

Will



ルールに沿って神経衰弱ゲーム



絵カードを使った
コミュニケーションの練習



分類のお勉強
「大きい」「小さい」

豊中市立児童発達支援センター[通所部門]



なつまつり



くるみ 絵の具①

(西野・上口・瀬川 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示板

ジョブサイトよど

★慰労会★(お買い物、ビンゴ大会)



運動♪



お菓子作り🍰



創作活動✍️



ジェイブランチよど

「ブランチ映画館」



土曜開所日で映画鑑賞をしました。パンフレットと照らし合わせながらスクリーンを觀たり、おしゃべりを交えながら觀たり、時々ポップコーンに集中したり…それぞれの楽しみ方で参加されていました！



「慰労会 2024 夏」

恒例の慰労会は、それぞれの出し物もパワーアップ!? 次に向けての準備を進められている方もいるようです♪



(桑田・川添 記)

ぷれいすBe 掲示板

シフォンケーキ作り



プール



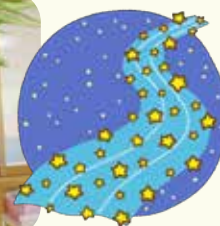
ハンバーガー



水遊び



七夕



(八木・西垣・峠 記)

ジョブジョイント (JJ) おおさか・ジョブジョイントおおさか -たかつきランチ- 掲示板

6月	行	事
4日	防災センターにて防災体験 (高槻オフィス)	
10日	企業実習 (鉄道会社での事務系作業)	
14日	OB会 (華金)	
17日	企業実習 (総合病院にて食堂での食器洗浄など)	
19日	特別プログラム (はるやま商事さんのスーツの着こなし講座)	
22日	土曜開所日 (高槻オフィス: 自分を知る勉強会、十三オフィス: ゲーム大会)	
7月	行	事
4日	キャリア探求プロジェクト@ (株) ジオリゾーム (十三オフィス)	
9日	企業見学 (ネット通販会社でのピッキング業務)	
12日	企業見学 (保険会社での事務)	
20日	土曜開所日 (高槻オフィス: OBとご利用者の交流会、十三オフィス: 展示会おでかけ)	
24日	企業実習 (スポーツ用品店でのバックヤード、清掃業務)	
31日	豊中市立児童発達支援センターでのボランティアワーク開始 (十三オフィス)	
8月	行	事
3日	OB会 (淀川花火大会)	
5日	企業見学 (金融機関での事務系軽作業)	
5日	企業実習 (城野寝具 (株) にて商品の検品など)	
7日	働くチカラPROJECT (就活準備講座: 自己PRをつくってみよう)	
7日	企業見学 (事業者向け通信販売会社での事務)	
31日	土曜クラブ (高槻オフィス: ゲームクラブ、十三オフィス: 調理)	

(岡本 記)

① キャリア探求プロジェクトが始まりました (自立訓練)

今年の4月からはじまった「キャリア探求プロジェクト」では、自立訓練の皆さんと一緒に会社へ出かけ、働く人にインタビューをしてきました。今回は株式会社ジオリゾームの方にインタビューをさせていただき、働いていて楽しいこと・大変なことなどを優しく丁寧に教えて下さいました。「人と関わる仕事って大変そう…」「楽しそうな職場だな」などさまざまな感想があり、とても勉強になりました。



② スーツの着こなしセミナーを開催 (就労移行支援)

高槻オフィスでは、6月19日(水)に、はるやま商事の方をお招きして、スーツの着こなしセミナーを開催しました。

普段のプログラムは私服で参加する場合も多いですが、当日はスーツやオフィスカジュアルのスタイルで参加していただきました。スーツを着る上でのマナー、スーツの選び方を聞いたのは初めてだった方も多かったと思います。参加した利用者さんからは「相手に良い印象を与える着こなし方、スーツの選び方を知れて良かった」という感想がありました。



③ 今年も淀川花火大会がありました! (OB会)

今年も、ジョブジョイントおおさかから就職された皆さんの集まり(OB会)で花火大会を楽しみました。花火が打ち上がると、みなさん「お～～！」と声をあげながら楽しんでおられ、スマホでバッチリ撮影されていました。就職した皆さんからは、趣味の話や楽しみにしていること、仕事の苦労話や嬉しかったことなど、いろんなお話を伺うこともでき、同じ社会人としてOBに皆さんから励ましてもらうことや元気をもらうことも多いです!





新しい内職作業に取り組んでいます

コインメックの洗浄



秋の新品を製造しています



たかつきまるしえに出店しました！

高槻市役所



高槻城公園芸術文化劇場オープンデー



夏のレクリエーション盛り上がりました♪



オータムギフト・イベントのご紹介

いつもご愛顧いただき誠にありがとうございます。店頭ではオータムギフトをご用意しております。新商品のマロンケーキ、パンプキンマドレーヌ、紫芋ケーキなど秋を感じる詰め合わせです。

また10月は9周年のイベントも行います。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。皆様のご来店心よりお待ちしております。



Instagramのご紹介

お店の情報をアップしていますので、ぜひご覧ください♪



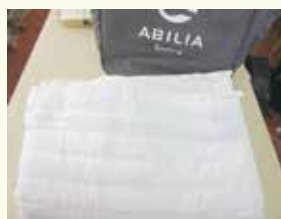
～ 訪問の様子～



身体に重さを感じることで落ち着いて過ごすことができます。
訪問看護で活用しています。(令和4年度の後援会の寄贈品です)



チェーンベストバランスXS (キッズ用)
チェーンベストバランスジュニア (大人用)



チェーンブランケットキッズ 3kg
チェーンブランケットシングル 6kg/12kg

(岡野 記)

萩の杜家族会 掲示板

6月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン（関連店での買い物協力依頼）	
21日	安満遺跡公園散策と茶話会（コーヒーラウンジISHIDA）9名出席	
24日	通所部 茶話会（からふね屋珈琲 高槻店）6名出席	
27日	サークル萩（今城塚公民館）	
7月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン（関連店での買い物協力依頼）	
17日	役員会 定例会（クロスバル高槻） <ul style="list-style-type: none"> ・家族会会長挨拶 ・事務局 サークル萩 通所部 会計 活動報告 ・施設からの報告 	
25日	サークル萩（今城塚公民館）	
8月	行	事
11日	イオン黄色のレシートキャンペーン（関連店での買い物協力依頼）	
23日	サークル萩（今城塚公民館）	

（池永 記）



ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

6月	行	事
17日	家族会会長会（高槻市生涯学習センター）：金谷会長出席	
7月	行	事
16日	第1回 定例会（クロスパル高槻 5階 視聴覚室） <議題> ①法人近況説明（平野常務理事） ②ジョブサイトひむろ建設計画状況及び現状報告（森田施設長） ③家族会より（会計報告・他） ④次回開催予定 第2回 定例会 10月3日(木) 10時30分～12時 第3回 役員会 <議題> ①本日の定例会での議論を踏まえて審議すべき事項 ②今後の役員会・定例会の日程確認 ③第4回役員会(9/3)の議題等について ④次回予定 第4回 役員会 9月3日(火) 10時30分～12時	
8月	行	事
19日	北摂杉の子会後援会 役員会（ZOOM）：金谷会長出席	

（山田 記）

ジョブサイトよど家族会 & ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

6月	行	事
17日	家族会会長会（高槻市生涯学習センター） 出席：永井会長、玉木会長	
22日	合同役員会（アーリーアーク306号室）	
7月	行	事
2日	7月定例会（淀川区民センター） 「松上理事長と語ろう」 法人：松上理事長、下部長 ジョブサイトよど家族会（出席：8名） ジェイ・ブランチよど家族会（出席：1名）	
8月	行	事
19日	北摂杉の子会後援会 臨時役員会（法人本部、ZOOM） 出席：永井会長	

（永井 記）

ぶれいすBe家族会 掲示板

6月	行	事
12日	役員会（ぶれいすBe相談室 1）参加者 10名 審議内容 <ul style="list-style-type: none"> • ショートステイとの懇談会について 懇談会開催の案内文を家族会の名簿と共に配布 • 参観&ランチについて 9/30（月） 10/22（火） 11/27（水） 12/12（木） 1/17（金） 来月の役員会で開催案内を作成し配布 • 見学会・勉強会について 開催時期は、10月末～11月の予定 • 杉の子会後援会役員会の報告 • その他 情報・意見交換 会費の減額や役員の負担軽減について 通所者に向けて会員募集を再度は図る 家族会に対する意見や要望を家族会宛のメールで広く求める 	
7月	行	事
1日	ショートステイとの懇談会	
10日	役員会（ぶれいすBe相談室 1）参加者 7名 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> • 参観&ランチについて • ショートステイとの懇談会の報告 • 見学会について 今回はランチを主として親睦会的なものにする • 定例会について 下期活動計画を省く グループディスカッションの形式にする • その他 会員募集のチラシをぶれいすBeに通所者全員に配布する 	
8月	行	事
19日	後援会 臨時役員会 Zoomにて参加	
21日	役員会（ぶれいすBe相談室 1）参加者 9名 審議事項 <ul style="list-style-type: none"> • 参観&ランチ それぞれの日の担当者決定 日程のお知らせを配布 • 定例会について グループディスカッションを実施 • 懇親会について 11月 7日 11時～津の田ミート（予定） 	

（芦川 記）



北摂杉の子会 後援会 掲示板



本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また法人家族会の皆様のご支援を頂き、誠にありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<報告事項>

I 会員数の動態と資金について

	個人会員数	納入率	団体会員数	納入率	寄付
4月	602	(5%)	36	(2%)	3
5月	602	(8%)	36	(2%)	5
6月	602	(9%)	36	(2%)	6
7月	602	(10%)	36	(2%)	7
8月	613	(20%)	36	(4%)	10

8月末現在の増減・累計

個人：13名 団体：0 寄付：10名

資金 会費：524,000円 寄付：255,000円 合計：779,000円

II 今年度8月末までに会費、寄付金合わせまして779,000円の資金を頂戴いたしました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

III 定例役員会を開催し下記の案件について確認。

日時 2024年8月19日(月)

1. 今年度の寄付金使途について
2. 今年度の会員動態と資金の推移について
3. 年度計画の進捗確認

•各家族会の活動報告

•会員拡大の検討

•次回臨時役員会の開催予定

日時：2024年11月20日(水) 10:00~11:30

場所：商工会議所

(沖本 記)

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に
感謝いたします ～



□ 後援会入会と会費納入に感謝いたします。(令和6年6月1日～令和6年8月31日)

竹内知子 山田信子 首藤しげみ 青木正樹 三谷 勤 山田博秀 小山 緑 亀田三恵子 玉木一彦
東井はるみ 伊藤高輝 松田幸雄 森 泰雄 高田重典 尾木 豊 辻本智恵子 長谷勝信 福留泰子
奥 健介 奥 美貴子 田口勝重 田口恵美子 福田江里子 岩成由佳子 田口恒子 本田圭子 西田博文
村山靖子 村山宣明 篠原琴美 中村忠雄 中村昭代 平瀬武明 西井正美 西井真弓 高田弘美 西井多美
八田 隆 下江正治 本田成美 金谷 健 松岡洋市 強田純子 林 智恵 和泉良太郎 和泉智子
辻澤尚子 北山浩幸 志田智子 有川由子 有川輝久 有川智美 有川航平 有川光洋 森田豊子 秋山三智
近藤順子 棚山薫晴 棚山 妙 小林富代 株式会社いずみ商事 大弘建設株式会社 匿名5人

□ 後援会へのご寄付に感謝いたします。(令和6年6月1日～令和6年8月31日)

新川 淳 山田卓史 宮本東雨

□ 家族会へのご寄付に感謝いたします。(令和6年6月1日～令和6年8月31日)

池上みどり 岡田公子 白倉三千子 南野佐智子 吉田尋美

□ 家族会への物品のご提供に感謝いたします。(令和6年6月1日～令和6年8月31日)

黒瀬美和子 中谷洋子

□ 家族会へのボランティアに感謝いたします。(令和6年6月1日～令和6年8月31日)

佐々木映世

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2024年10月31日

定価100円

施設住所一覧

- **社会福祉法人 北摂杉の子会 法人事業部
人材育成研修室**
(法人独自の公益事業〈研修・講師派遣・コンサルテーション〉)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
 - **障がい者支援施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
 - **萩の杜 日中活動支援センターふれっとなさはら**
(生活介護)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番25号
 - **萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
(短期入所・日中一時支援)
〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0199
 - **グループホーム とんだ** (共同生活援助)
〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
 - **レジデンスなさはら** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
 - **レジデンスなさはら2丁目** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目1番8号
 - **レジデンスなさはらもとまち** (共同生活援助)
〒569-1041 高槻市奈佐原2丁目4番26号
 - **ジョブサイトひむろ** (生活介護)
〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
 - **高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
(生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
〈短期入所〉 TEL (072)681-4720
 - **生活支援センター あんだんて**
(指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
 - **大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
(発達障害者支援センター事業)
〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
谷四ばんらいビル10F
TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
 - **児童デイサービスセンター an**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)4862-5454 FAX (06)4862-5466
 - **こども発達支援センター will**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
 - **こども相談支援センター wish**
(指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
TEL (072)668-4776 FAX (072)681-4900
 - **自閉症療育センター Link**
(児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
 - **ジョブサイトよど** (生活介護)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
 - **ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
 - **レジデンスよど三津屋北ホーム** (共同生活援助)
〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北1丁目9番6号
 - **レジデンスよど十三ホーム** (共同生活援助)
〒532-0024 大阪市淀川区十三本町2丁目14番9号
 - **ジョブジョイントおおさか**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
 - **ジョブジョイントおおさか たかつきランチ**
(自立訓練〈生活訓練〉・就労移行支援)
〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
 - **すぎのご訪問看護ステーション** (訪問看護)
〒569-0071 高槻市城北町1丁目7-16 リーベン城北401
TEL (072)668-2670 FAX (072)668-2671
 - **豊中市立児童発達支援センター【通所部門】**
〒561-0854 豊中市稲津町1丁目1番20号 1階
TEL (06)6676-7890 FAX (06)6676-7889
- 【法人自主製品店舗】
- 「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) / TAKATSUKI」
就労継続支援B型
〒569-0071 高槻市城北町2丁目13番2号
TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)
- ※■は行政よりの委託事業





社会福祉法人
北摂杉の子会